

— 画家たちは、最果てを目指した。

La Bretagne

Source d'inspiration

2023.3.18|土~6.11|日 M M M M 国立西洋美術館 | 東京 上野公園
The National Museum of Western Art

開館時間 | 9:30~17:30(毎週金・土曜日は20:00まで) ※5月1日(月)、5月2日(火)、5月3日(水・祝)、5月4日(木・祝)は20:00まで ※入館は閉館の30分前まで
休館日 | 月曜日 ※ただし、3月27日(月)、5月1日(月)は開館
主催 | 国立西洋美術館、TBS、読売新聞社 後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、TBSラジオ 協賛 | 大和ハウス工業、DNP大日本印刷、損害保険ジャパン
協力 | 日本通運、西洋美術振興財団

クロード・モネ《ポル＝ドモワの洞窟》(部分) 1886年 油彩 / カンヴァス 茨城県近代美術館

憧 憬の地 ブルターニュ

モネ、ゴッガン、黒田清輝らが見た異郷

La Bretagne

Source d'inspiration

2023.3.18|土~6.11|日 M M M M 国立西洋美術館 | 東京 上野公園
The National Museum of Western Art

開館時間 | 9:30~17:30(毎週金・土曜日は20:00まで) ※5月1日(月)、5月2日(火)、5月3日(水・祝)、5月4日(木・祝)は20:00まで ※入館は閉館の30分前まで
休館日 | 月曜日 ※ただし、3月27日(月)、5月1日(月)は開館
主催 | 国立西洋美術館、TBS、読売新聞社 後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ日本、TBSラジオ 協賛 | 大和ハウス工業、DNP大日本印刷、損害保険ジャパン
協力 | 日本通運、西洋美術振興財団

ポール・ゴッガン《海辺に立つブルターニュの少女たち》(部分) 1889年 油彩 / カンヴァス 国立西洋美術館 松方コレクション



フランス、内なる「異郷」への旅。

ブルターニュと画家たち

フランス北西部、大西洋に突き出た半島を核とするブルターニュ地方は、古来より特異な歴史文化を紡いできました。断崖の連なる海岸や岩が覆う荒野、内陸部の深い森をはじめとする豊かな自然、各地に残された古代の巨石遺構や中近世のキリスト教モニュメント、そしてケルト系言語たる「ブルトン語」を話す人々の素朴で信心深い生活様式 — このフランスの内なる「異郷」は、ロマン主義の時代を迎えると芸術家たちの注目を集め、美術の領域でも新たな画題を求める者たちがブルターニュを目指します。以来この地は流派や国籍を問わず幅広い画家を受け入れることとなり、19世紀末にはポール・ゴーガンを取りまくポン＝タヴェン派やナビ派といった美術史上重要な画家グループの誕生を促しました。またこの時代、日本は明治・大正期。黒田清輝や藤田嗣治、岡鹿之助など日本から渡仏した画家たちもブルターニュを訪れ、この地に想を得た作品を残しています。



*本展では19世紀から20世紀前半の歴史・文化的地域圏に鑑み、ロワール＝アトランティック県も含めて「ブルターニュ地方」としています。



©Junko Tamaki(t.cube)

展覧会アンバサダー・音声ガイドナビゲーター

杏（女優）

もともと美術展が好きで、時間があるとよく美術館に行きます。「ブルターニュ」というテーマの中で、同じ時代の同じ場所を様々な画家がどのような視点を持って景色を見ていたのか、何を感じたのか…。当時の画家たちの声が聞こえてくるような作品ばかりなので、展覧会でブルターニュという場所をよく理解し、味わい、いつか私も旅をしたいなと思います。

音声ガイド | 貸出料金：1台 600円〔税込〕 音声ガイド付きチケット | 2,300円〔税込〕（期間限定販売）

*音声ガイド付きチケットは、TBSチケットのみの期間限定販売となります。詳細は展覧会公式サイトをご確認ください。*予定枚数に達し次第、販売終了となります。

見出されたブルターニュ

異郷への旅



ウィリアム・ターナー《ナント》1829年 水彩 ブルターニュ大公城・ナント歴史博物館



クロード・モネ《嵐のペリール》1886年 油彩／カンヴァス。オルセー美術館（パリ）蔵。©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Adrien Didierjean / distributed by AMF

ポール・セリュジエ
《ブルターニュの
アンヌ女公への礼賛》
1922年 油彩／カンヴァス
ヤマザキマザック美術館
※展示は5/7(日)まで

風土にはぐくまれる感性

ゴーガン、ポン＝タヴェン派と土地の精神

ポール・ゴーガン《ボア・ダムールの水車小屋の水浴》
1886年 油彩／カンヴァス。ひろしま美術館

ポール・ゴーガン《ブルターニュの農婦たち》1894年 油彩／カンヴァス。オルセー美術館（パリ）蔵。©RMN-Grand Palais (musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by AMF

19世紀後半から20世紀はじめにかけ、モネ、ゴーガンら多くの画家たちがフランス北西部のブルターニュ地方を訪れ、この地を作品に描きとめました。本展では国立西洋美術館の「松方コレクション」を含む、30か所を超える国内所蔵先と海外の2館からブルターニュをモチーフにした作品約160点を精選。彼らがこの「異郷」に何を求め、何を見出したのかを探ります。また、同時期に渡仏し、パリからブルターニュを訪れた黒田清輝、藤田嗣治ら日本の画家たちにも光をあてる、これまでにない試みでもあります。今回は絵画や素描、版画にとどまらず、当時の画家たちが旅先から送った、あるいは受け取った葉書や旅行トランクなども展示。多様な画家たちのまなざしを感じつつ、東京・上野からブルターニュへ旅してみませんか。



エミール・ベルナール《ポン＝タヴェンの市場》1888年 油彩／カンヴァス。岐阜県美術館

土地に根を下ろす

ブルターニュを見つめ続けた画家たち



シャルル・コッテ《行列》1913年 油彩／カルトン。国立西洋美術館 松方コレクション



モーリス・ドニ《花飾りの船》1921年 油彩／カンヴァス。愛知県美術館



リュシアン・シモン《曲場場》1917年頃 油彩／カンヴァス。大原美術館

【チケット情報】

観覧料(税込)：一般 2,100円、大学生 1,500円、高校生 1,100円

＊中学生以下、心身に障害のある方及び付添者1名は無料(入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、障害者手帳をご提示ください) ＊国立美術館キャンパスメンバーズ加盟校の学生・教職員は本展を学生1,300円、教職員1,900円でご覧いただけます。国立西洋美術館券売窓口にてお求めください。 ＊新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため本展では団体券の販売を行わないことといたしました。＊入場方法、購入方法についての詳細は、展覧会公式サイトをご確認ください。

アンリ・リヴィエール 左:連作「時の仙境」より:《満月》※展示は5/7(日)まで
右:連作「時の仙境」より:《薄暮》※展示は5/9(火)から
1901年 カラー・リトグラフ 新潟県立近代美術館・万代島美術館

シャルル・コッテ《悲嘆、海の犠牲者》1908-09年 油彩／カンヴァス。国立西洋美術館 松方コレクション

日時指定制

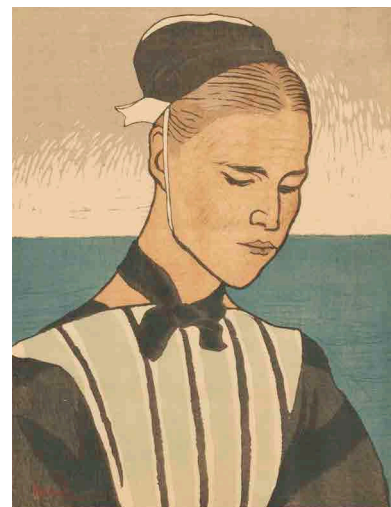
本展は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、日時指定制となります。事前に日時指定予約の上、ご来場ください。

※会期中は国立西洋美術館券売窓口にて当日券を販売します(ご案内できる直近の時間帯でのご入場となります)。ただし、ご来場時に予定枚数が終了している場合がございます。

【お問い合わせ】050-5541-8600(ハローダイヤル) 【展覧会公式Twitter】@bretagne2023 【展覧会公式サイト】<https://bretagne2023.jp>

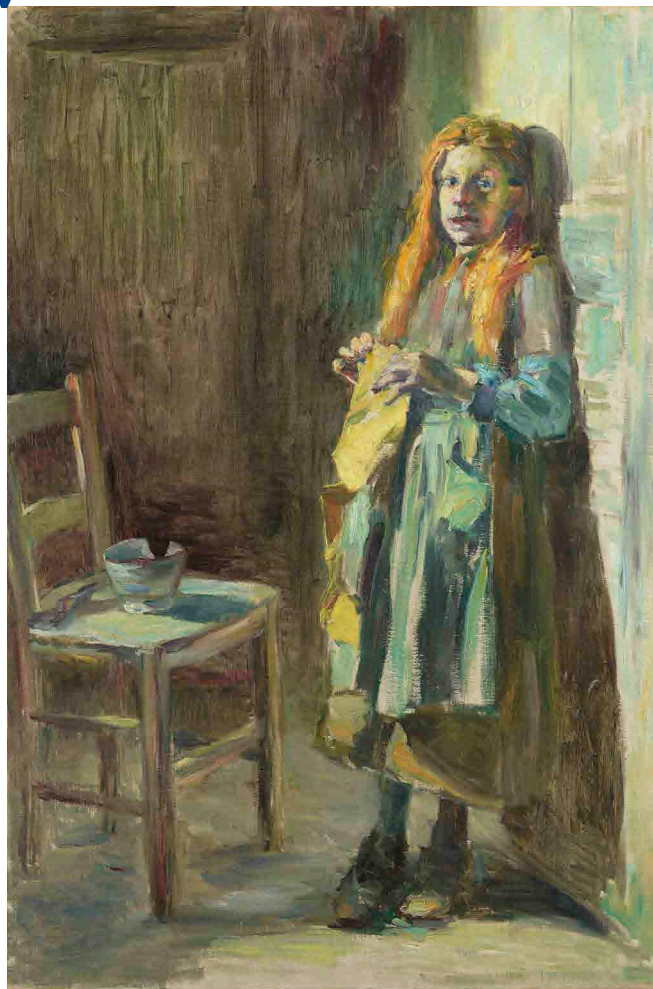
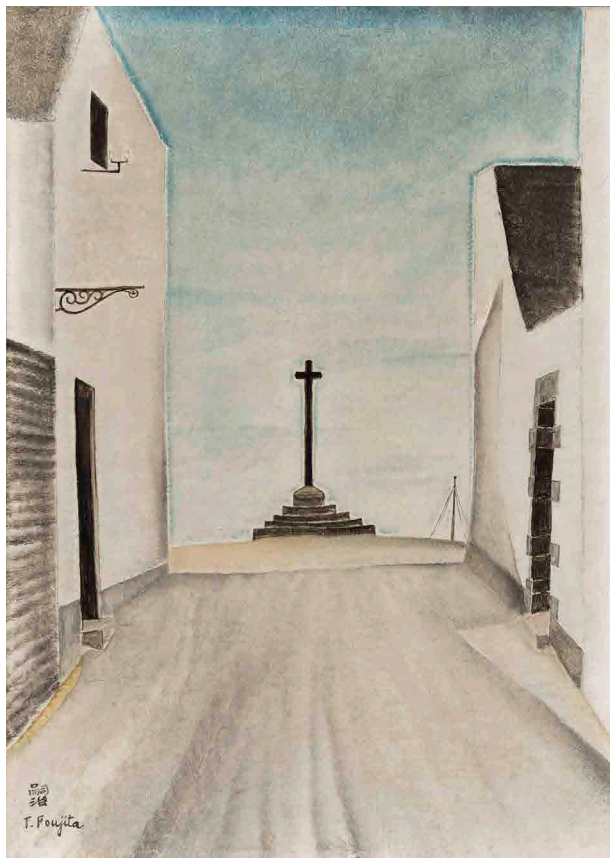


岡鹿之助《信号台》1926年 油彩／カンヴァス。目黒区美術館

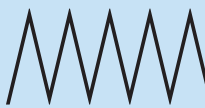
久米桂一郎《林檎拾い》
1892年 油彩／カンヴァス。久米美術館山本鼎《ブルトンス》
1920年 多色木版。東京国立近代美術館
※展示は5/7(日)まで

日本発、パリ経由、ブルターニュ行

日本出身画家たちのまなざし

黒田清輝《ブレハの少女》
1891年 油彩／カンヴァス。石橋財団アーティゾン美術館藤田嗣治《十字架の見える風景》1920年頃 油彩／カンヴァス。岐阜県美術館
©Foundation Fujita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 E5054

※会期中、一部作品の展示替えを行います。



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

〒110-0007
東京都台東区上野公園7-7
<https://www.nmwa.go.jp>

【交通】JR上野駅下車(公園口) 徒歩1分、京成電鉄京成上野駅下車徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩8分 ＊当館に駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

